

健康教育『食育』モデル校事業

～学校における食育の充実に向けて！～

健康教育課

1 食育モデル校事業について

健康教育課では、平成22年度から、健康教育「食育」モデル校事業として、市内小学校での研究実践を支援している。

平成22年度は日進北小学校、大砂土東小学校をモデル校に、平成23年度には、神田小学校、善前小学校が加わり、現在、4校が様々な実践を展開している。



【大砂土東小：5年 家庭科「わたしにもできるかな、ごはんのみそ汁」】

2 食育モデル校の取組

モデル校では、食育全体計画、各学年年間計画を作成し、給食指導、関連する教科、学校行事等の中で食に関する指導を実施している。特に、これまでも教育活動として実施してきた「学校給食」を生きた教材として活用し、学級担任をはじめ、栄養教諭と連携して意図的、計画的に取り組んでいる。

また、給食においては、地場産物の活用や、郷土食、行事食の提供を通して、地域文化、伝統への関心を高め、理解を深めている。



【神田小：2年 生活科「野菜いっぱいになあれ」】



【善前小：3年 国語科「大豆のひみつを知ろう」】



【日進北小：2年 学級活動「野さい大すきなかよし大作せん」】

3 食育モデル校研究成果の共有へ！

近年、児童生徒の食生活をめぐる社会環境が大きく変化し、食生活の乱れや生活習慣病と食生活との関係も指摘されている。

学校における食育は、児童生徒に食に関する正しい知識、望ましい食習慣と実践力を身に付けさせることができる。

健康教育課では、モデル校の実践を支援すると共に、その研究実践の大きな成果が他校にさらに共有できるように推進していく。